

# 地域の防災意識を高める



**3,904人**  
香南市総合防災訓練参加者数

9月2日(日)午前9時、震度6強の地震を土佐沖で観測。9時5分に、「大津波警報」が発令されたとの想定で、市内一斉に地震・津波避難訓練が実施されました。訓練で、消防署員や消防団、女性防火クラブなど約300人が、それぞれの持ち場で避難する住民の誘導や指導を行いました。



高齢者はリヤカーに乗せてもらって

安否確認は名前を書いて

新しく建設された松ヶ瀬避難広場への初避難

**主** 会場となった、赤岡町では、ほぼ全域が次期南海地震による津波浸水予想地域。自主防災組織による地域の防災力の向上が求められています。  
サイレンとともに続々と避難場所に集まる人の中には、高齢者や乗せたりヤカーを押して避難する姿がみられました。グラウンドに避難した人たちは、各地区のテントで、

安否確認のため名簿へ名前を記入。また、倒壊家屋からの救出訓練を本番さながらに実施し、消防署員の確かな指示を聞きながら、真剣に取り組みました。防災ヘルメットをかぶった赤岡小学校の児童や教員も参加し、初期消火訓練や、AED(救命救急装置)の操作などを体験しました。

**吉** 川町は、ほぼ全域が津波避難対象地区で、全地区の自主防災組織が参加しました。

昨年結成された中組地区では、避難訓練後に、防災資機材の点検や使用訓練、非常食の試食などを行いました。

**野** 市町では、自主防災組織を対象に8組織が参加しました。

みどり野地区では約200人が参加し、避難訓練後に、消防団員の指導で応急救護訓練や初期消火訓練などを行いました。

**夜** 須町では、沿岸地域と自主防災組織を対象に実施。

夜須庁舎近くの住民は、今年3月に完成した夜須中央公民館外付け避難階段を使いスムーズに屋上まで避難。屋上に設置された防災倉庫の備蓄品の点検などを行いました。

**香** 我美町は、自主防災組織を対象に24組織が参加しました。

津波被害が予想される岸本地区では、6組織452人が訓練に参加。それぞれの組織が定めた一次避難場所から、岸本小学校や集会所などに場所を移し、防災資機材の点検や使用訓練などを行いました。

また、宇田町自治会では、次期南海地震による津波の襲来で、地域全域が水没する最悪の場合を想定。訓練後の臨時総会で、避難場所の整備と、地域の核として、非常食などが備蓄できる防災コミュニケーションセンターの建設に関する要望書を市へ提出することを決定しました。

吉川町 304人



宇佐八幡宮へ避難

野市町 523人



みどり野での応急救護訓練

夜須町 560人



外付け避難階段を使って避難

香我美町 2,049人



発電機の操作方法を指導

## 緊急地震速報 来る前に知る 10月1日スタート

地震の発生場所によっては、揺れの方が早く来るともありません。

はじめに来る、弱い揺れをすばやくキャッチ!

揺れが来るよりも、早く知らせます!

みんなの家のテレビ・ラジオなどで放送

問い合わせ：高知地方気象台 088-822-8882

震度4以上の地震の揺れ